



Keeping the World Flowing
for Future Generations



IQT シャットダウンバッテリー

危険場所・非危険場所を問わず、
主電源消失時にフェイルセーフ動作を実行します

IQTシャットダウンバッテリーオプションはIQTアクチュエータ向けのオプションであり、危険場所・非危険場所を問わず、主電源消失時にフェイルセーフ動作を実行します。内蔵の電池パックにより、コンパクトな防爆仕様の遮断ソリューションを提供致します。

バックアップ電源は、アクチュエータの本体内部のリチウムイオン電池から供給されています。電池がアクチュエータ本体内部に格納されているので、アクチュエータの防水・防塵性や危険場所等級が損なわれることなく、維持されます。

主電源消失時でもシャットダウンバッテリーは絶えず機能しており、自動的にバルブを設定したフェイルセーフ位置まで動作させます。なお、フェイルセーフ動作につきましては、お客様側の要件に合わせて変更することが可能であり、「フェイルクローズ」「フェイルオープン」「現状開度維持」「指定中間位置へ動作」から選択することができます。

UPS(無停電電源装置)モードでは、電源消失時に、電池が切れるまでアクチュエータを通常通り作動させ続けることができますので、この間、作業に支障を来すことはありません。そのため、重要度の高い作業が中断されることはなく、また、費用のかかる再起動作業も発生いたしません。

IQTシャットダウンバッテリーは、部分ストローク、Bluetooth無線通信、現場での速度設定機能、非貫通のIP68ダブルシール構造の本体等、標準仕様のIQTアクチュエータと同様の機能を備えています。

》 シャットダウンバッテリーオプションにより、電源消失時に、フェイルクローズ、フェイルオープン、現状開度保持、中間位置(開度_%)へ動作といったフェイルセーフ動作を円滑に実行することができます。

》 フェイルセーフ動作により、安全上の問題の発生を防ぎ、制御への影響を抑制して様々な損害を回避できます。

》 リチウムイオン電池パック内蔵

》 UPS モードでは、電池残量があれば通常通り、動作を継続することが可能

》 防水・防塵及び防爆仕様

》 現場・遠隔を問わず、電池の残量や状態を監視することが可能

》 一時的に電源が消失しても操作を継続することができるため、費用のかかる再起動作業は不要

》 90°回転及びフルターンタイプのトルクは最大2,000 Nm

》 現場で、またはPC用ソフトウェアInsight 2を使用して、カバーを取り外すことなく設定を行うことが可能。

危険場所・非危険場所を問わず、
主電源消失時にフェイルセーフ動作を実行します



アプリケーション

- 調整弁の遮断、インチャング、モジュレーティング
- 緊急遮断弁、プロセス遮断弁、部分ストロークテスト
- 石油・ガスの生産、タンクファーム、化学物質の精製、産業プロセス、水処理・水供給等、プロセスの継続的な稼働が必要な不可欠な場面
- 辺境地のプロセスガス(メタン)を動力源とする空気式アクチュエータの代替え機器として
- 信頼性の低い動力源に依存しているプラント
- 遠隔地のパイプラインのポンプステーション等、太陽エネルギーを動力源とするアプリケーション(動力源の変動を軽減するため)
- 坑口装置のチョーク弁
- 原油の輸送、天然ガスの自動定量輸送設備の切換え弁
- スプリングリターン式のフェイルセーフアクチュエータの代替え機器として
- 高価な外部電池を使用するアプリケーション

仕様

- 使用温度:-40~+70°C
- 防爆ユニットのフェイルセーフ動作時のトルク
 - 90°回転用 2,000 Nm
 - リニア式(IQTF) 75 kN
 - フルターン式(IQTF) 2,000 Nm
- 待機電力1W未満
- 重量: 22~37 kg
- サイズ展開: IQT125~IQT2000
- 負荷定格:S2(短時間定格)で15分、S4(始動の影響のある反復定格)で50%
- 本体:
 - 危険場所向け: ATEX, IECEx, CSA, CSAus (国内防爆取得予定)
 - 非危険場所向け: IP68 (水深20 m/10日)

電池

- タイプ:リチウムイオンパック(外部環境から保護、電池の残量や状態の確認が可能)
- 使用寿命:平均7年、最も条件のよい環境に設置した場合20年
- 電池持ち時間: 最大5年(100%に充電した状態で、最高気温30°Cの環境で保管した場合)
- アクチュエータの通常使用時に、アクチュエータの主電源から自動的に充電
- 電源消失時に確実に機能するように、IQTのソフトウェアを用いて電池の状態を管理することが可能
- 必要に応じて、電源復旧時に自動的に通常の動作を記録させることも可能

バックアップ電源で実行可能な動作及び作業の詳細については、資料PUB002-065をご参照下さい。

世界各国の弊社販売拠点及びサービスセンターの一覧につきましては、弊社ウェブサイトにてご確認ください。

Corporate Headquarters
Rotork plc
tel +44 (0)1225 733200
email mail@rotork.com

ロトルクジャパン株式会社

■本社 〒135-0015
東京都江東区石2-2-24
電話 03-5632-2941
fax 03-5632-2942
email sales.japan@rotork.com

■大阪営業所 〒590-0946
大阪府堺市堺区熊野町東2-1-19
電話 072-242-8844
fax 072-242-8864
email sales.japan@rotork.com